

飛 翔 (ひしょう)

これまでの進路通信「飛翔」では、卒業後の進路先の紹介を主に記事として取り上げてきました。今回より学校内に目を向けた内容を発信していきたいと思えます。

校内での進路に関わる教育活動は、中学部や高等部で行われている、「作業学習」や「校内作業実習」を思い浮かべる方が多いと思えますが、実は「自立活動」や「生活単元学習」をはじめ、小学部の「ことば・かず」や「音楽」等の教科全てが進路指導に関わっているといえます。進路指導とは当校の教育目標にあるように、「ひとりだちのできる子」の育成を目指しすべての教育活動を通して児童生徒の個性を伸ばし、一人一人に応じた「自立と社会参加」ができることを目指した活動です。

進路通信では、取材の先を当校の教育活動に向け、普段の授業でどのようなことを意識して指導しているのか、「自立と社会参加」にどう繋がっていくのかを進路指導の視点で紹介していきたいと思えます。

今回は小学部の活動の紹介です。

【飛驒特別支援学校の教育目標】

「ひとりだちのできる子」の育成（自立と社会参加の力を育てる）



小学部全学年 日常生活の指導

目標・・・身の回りのことに自分で取り組む。時間内に決められた活動内容を終える。

活動内容・・・登校後の身支度、朝の会、帰りの会、歯磨き、掃除など

小学部は8時20分から学校に登校し、それぞれの教室に入って登校後の身支度をします。手順表や写真カードを手掛かりに、手提げかばんやランドセルを所定の位置に置いたり、着替え終わった服を畳んだりするなど、身の回りのことはできるだけ自分一人の力でできるよう頑張っています。決められた場所に置いたり、時間までに準備を終えたりすることは、職場や作業所内で決められたルールや規則を守る力へと繋がっています。

さらに授業だけに関わらず、給食後の歯磨きや掃除など学校生活全般を通して自分でできることを一つずつ増やしていきます。できることが増えると、進路先の選択の幅が広がることにもなります。一方、一人でできず困ったときや、手伝ってほしいときに、先生や友達に伝える力も必要です。適切な言葉やジェスチャーで相手に伝える方法を学びながら一日一日を大切に生活しています。



小学部6年生 音楽

目標・・・自分のパートの役割を知る。周りの音を聴く。リズムに合わせて合奏する。

活動内容・・・ピアノ、ハンドベル、タンブリンの合奏、身体表現、鑑賞など

小学部の音楽の授業は週に2回あります。今回取り上げる授業は6年生の授業です。子どもたちの実態は様々ですが、目をキラキラさせながら授業に取り組んでいます。プロジェクターにタンバリンを叩くタイミングや誰がどのパートなのか分かるように個々の写真を映し出し、さらに音楽の曲とアニメーションが加わって誰が見ても分かりやすい授業が展開されています。子どもにとって分かりやすい音楽の授業が『楽しい』と感じることで自分から進んで行おうとする主体性に繋がります。また、気分が不安定になった時に曲を聴いて気持ちを落ち着かせたり、音楽に打ち込むことで余暇活動の充実につながったりします。

『リズム譜通りに楽器を鳴らす』ことは、鳴らすタイミングや長さなどリズム譜を見て記憶したり、判断したりする力になります。それは、指示を正しく理解したり、仲間に合わせたりする力に繋がります。



毎日決まったリズムで生活したり、身の回りの整理整頓や掃除、料理のお手伝いをしたりすることなど、御家庭でも「ひとりだち」に繋がる場面がたくさんあります。週末や長期休みに、家でのお手伝いとして取り組んでいただくことも子どもたちの卒業後の進路に役立ちます。